

株式事務のご案内

事業年度 毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会 毎年9月
基準日 6月30日
中間配当基準日 12月31日
公告方法 電子公告により行います。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
ホームページアドレス
https://www.fchd.jp/ir/shareholder_information.html
株主名義管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
(連絡先) 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-288-324(フリーダイヤル)

株主さま・投資家さま向けウェブサイトのご案内

決算短信、決算説明会資料の掲載をはじめ、最近のトピックス等の各種情報を掲載しています。

<https://www.fchd.jp/>



各種手続きについて

1. 単元未満株式(1株~99株)をお持ちの株主さまは、当社に対して買取請求または買増請求を行うことができます。お手続きの詳細は、お取引の証券会社(特別口座が開設された株主さまはみずほ信託銀行)にお問い合わせください。
2. 株主さまの住所変更、買取・買増請求その他の各種手続きにつきましては、原則として口座を開設されている証券会社などが受付窓口となります。株主名簿管理人(みずほ信託銀行株式会社)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。郵便物などの発送・返戻、未受領の配当金などにつきましてはみずほ信託銀行株式会社で承ります。
3. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、みずほ信託銀行で受付致します。
4. 特別口座に記録された株式を市場で売却される場合は、特別口座から直接売却することはできませんので、証券会社などの口座に振り替える必要がございます。

表紙: ホップの毬花(まりはな)

SDGs活動として主導している地元栽培の原材料による地ビール製造が3年目を迎えました。

7th BUSINESS REPORT

 株式会社FCホールディングス

株主通信

第7期報告

2022年7月1日~2023年6月30日

 株式会社 FCホールディングス

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東三丁目6番18号
TEL 092-412-8300(代表)

 UD
FONT

見やすく読み間違えにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



新しい価値の創造により
社会の持続的発展に貢献します
～「基本は技術」～をStrong Cultureとして

株主のみなさまには、平素からFCホールディングスグループの企業活動に格別のご理解、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

複数年にわたり世界を覆ったパンデミックの暗雲は徐々に晴れてきましたが、引き続き地政学的な緊張は継続し、地球温暖化問題等の長期的課題も切迫感を増しています。大規模豪雨、斜面崩壊、河川氾濫等の災害も、相変わらず多発傾向が続いています。

このような時代だからこそ当社グループは、人々の安全安心を守るべく「新しい価値の創造により社会の持続的発展に寄与する」ことを経営理念として、第5次中期経営計画（～2028年6月期）において、これまで培ってきた高い工学技術の更なる進化と多様な科学分野との共創戦略を進めています。75年目を迎えた企業の歴史・組織力・ぶれることのない「基本は技術」のストロングカルチャーを背景に、実行する戦略・戦術を時代にあわせて「再定義（Redefinition）」しながら、常に信頼され頼りにされる専門技術サービスの提供が我々の社会への約束です。

2023年6月期（2022年7月～2023年6月まで）の経営成績は、業務プロセスの標準化、効率化、高付加価値化施策等がDX施策として効果を生み、堅調な国内市場環境も相まって、売上高、経常利益、当期純利益ともに過去最高をご報告申し上げます。

全世界的目標である持続可能な開発目標（SDGs）達成への貢献度を高め、環境（Environment）、社会（Social）に配慮した足腰の強い社会の公器としての経営集団の構築をすすめてまいります。更に、上場会社の義務として、企業統治（Governance）にも一層の注力を続け、人的資本投資、働きやすい組織づくりをすすめて、役職員一丸となって企業価値向上を図ってまいります。

株主の皆さまには、当社グループの活動に引き続きご理解を頂き、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2023年9月

代表取締役社長

福島宏治

第5次 中期経営計画

2022年7月～2028年6月

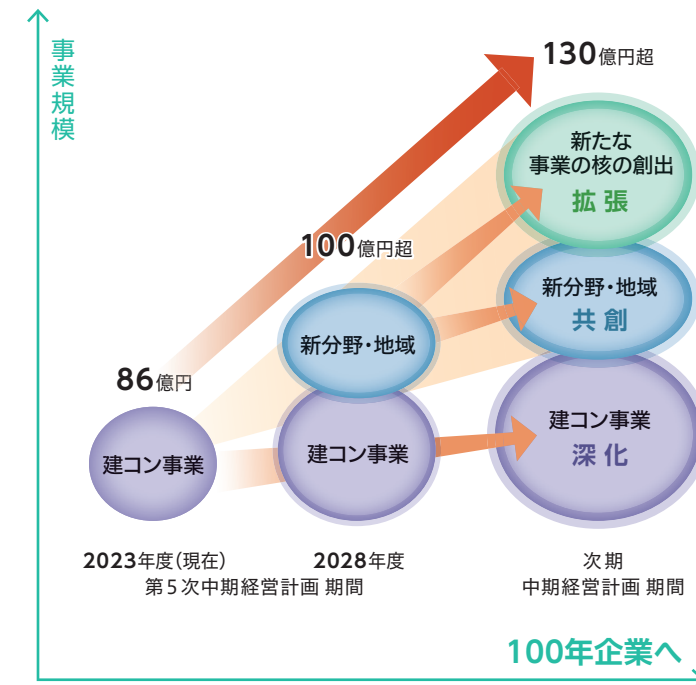
Redefinition
「再定義」

経営理念
Mission 新しい価値の創造により
社会の持続的発展に貢献します

目指す姿
Vision 1.我々は高い技術力を基本とした事業活動で顧客満足
を達成します
2.上質な顧客価値の創造により利益を生み
社会と株主に対する責任を果たします
3.全従業員が仕事に誇りをもち仕事を通じて
人間的成長と幸福を達成します

行動指針
Rule 1.多様な分野の専門技術と連携し
社会課題の解決に向けて挑戦を続ける
2.健全で透明性の高い誠実な経営を継続する

FCホールディングス
Founder's Consultants Holdings Inc.
新しい価値を創造する専門家集団



■ 目標指標（成長性・効率性）

売上高・成長率	5%/年平均
営業利益率	10%以上
ROE	10%以上
売上高・研究開発費率	5%以上
株主総利回り	中長期的な向上

2023年8月10日に、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関するお知らせを開示しました。

方針、目標

2025年6月30日までに、**PBR1倍以上、PER10倍以上を目指します**

成長のための投資の拡大

- ✓ 技術力を支える資格取得支援、リスティング支援、従業員の給与・福利厚生への積極的投資
- ✓ 既存事業の深化や共創戦略の強化、研究並びに開発技術の事業化への積極投資
- ✓ 事業地域・領域の拡大や新規事業への進出を促進するM&A投資

IR、PRの強化

- ✓ 個人投資家向けIRの強化
- ✓ 投資家との建設的な対話の強化
- ✓ 当社及び業界関係者を巻き込んだ建設コンサルタント市場の認知度アップのためのIR
- ✓ ESG、サステナビリティ関連の積極的な開示

安定的な株主還元を含む資本政策の推進

- ✓ 期首公約配当として約束する安定的な配当に、業績連動分を加算する配当政策の継続
- ✓ 従業員持株会や株式報酬制度を活用した役職員が株式市場を常に意識する経営の実施
- ✓ 自己株式取得なども含めた株式価値向上施策の総合的な検討

IR活動実績

投資家向けIRセミナーを開催

2022年11月26日に投資家を対象に当社グループの概要・事業内容、成長戦略、2023年6月期の計画等について説明しました。

方法 「ログミーファイナンス社」主催のオンラインライブ配信
説明者 代表取締役社長 福島 宏治

個人投資家向けIRセミナーを開催

2023年2月14日に個人投資家を対象に第2四半期決算概要、通期の計画、株式関連指標と株主還元施策等について説明しました。

場所 日経茅場町カンファレンスルーム
説明者 代表取締役社長 福島 宏治
 取締役 栄徳 洋平
 (オンラインライブでも配信)

アナリスト協会会員向けIRセミナーを開催

2023年8月10日(決算開示日)にアナリスト協会会員を対象に決算説明会を行いました。

場所 (公社)日本証券アナリスト協会 第3セミナールーム
説明者 代表取締役社長 福島 宏治
 取締役 栄徳 洋平

モビリティ形成事業

交通ネットワークの構築

熊本市と大分市を結ぶ「中九州横断道路」の複数の事業区間の計画・設計を受託しています。近年、沿線には世界的半導体メーカーの工場建設が進んでおり、産業拠点の形成を支える交通ネットワークの強化にも貢献しています。



中九州横断道路の事業状況

社会インフラ・防災事業

豪雨災害復旧への対応

激甚化する豪雨による土砂災害で被災した高速道路や街路の緊急復旧のための交通計画、道路設計を受託しています。2019年台風19号により被災した国道(宮城県丸森町地区)の本格的な復旧事業として計画・設計を実施した区間が完成し、災害に強い道路ネットワークの構築に貢献しました。



被災直後の状況



復旧後
宮城県丸森町地区の災害復旧状況

環境、都市・地域創生事業

計画策定等を実施したパークPFI事業の宿泊施設開業

沖縄県初のパークPFI事業であり、独立採算制の収益事業を含む官民連携事業の一環として整備された宿泊施設が2023年8月1日開業しました。民間事業者連合の構成員として参画し、事業初期段階のプロジェクトマネジメントやランドスケープ企画・設計を担当しました。今回の実績が評価され、民間事業者連合の代表企業より感謝状をいただきました。



敷地内庭園

ホテル外観

参考：レフ沖縄アリーナ公式HP <https://www.vessel-hotel.jp/ref/okinawa/>

新規分野

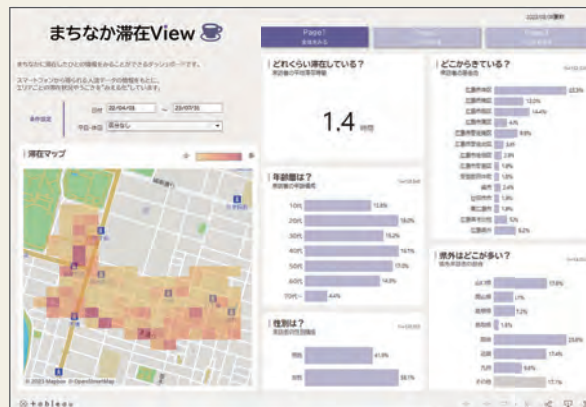
スマートシティへの展開

AI、IoTなどの先端技術を活用して都市や地域の課題解決と新たな価値を創出しようとする「スマートシティ」の展開に複数都市で参画しています。

広島市において、「Hiroshima City Dashboard」を構築する業務を他社との共同体を組成して受託しました。

この「ダッシュボード」は、過去の日別歩行者交通量や時間帯特性、来訪者の特性などを把握できるほか、3週間後までの予測データも提供されます。データの一部はオープンデータとしてダウンロード可能です。

マーケティングやイベントの検討など、様々な主体がまちづくりを行う際の基礎データとしての活用が期待されています。



広島市都心部への来訪者特性の表示イメージ

出典：Hiroshima City Dashboardホームページ
(<https://hiroshima-citydashboard.jp>)

AI技術を活用した下水道事業の展開

分析・解析技術を活かした研究開発活動により、下水道管路の効率的な維持管理につながる3つのAIを活用した技術を開発し、下水道コンサルティングを展開しています。

これらの技術は、2023年8月に札幌市で開催された下水道分おけるわが国最大の「下水道展」(主催：(公社)日本下水道協会)に出展し、技術内容について広くPRを行いました。

画像診断による 下水道管路の損傷診断技術

関連特許：第7270803号

AI技術で画像診断し、損傷箇所を自動検知



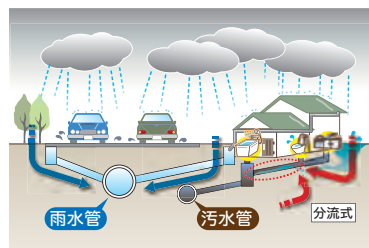
管路内画像撮影カメラ

損傷判定のイメージ

分流式下水道の汚水管への 不明浸入水推定技術

関連特許：第7143542号

AI技術で雨天時の浸入水が多い地区を特定



下水道管路網に対する 劣化予測による危険度判定技術

AI技術を用いた予測モデルにより危険度判定



SDGs

30by30の取り組み

指定管理者として管理・運営中の響灘ピオトープは、「30by30※」の「自然共生サイト※」に試行的に認定されており、本格認定に向けて様々なイベントを通じて、来訪者が生物多様性の価値を感じることでできる機会を提供しています。

※30by30とは

30by30とは、2030年までに生物多様性の損失を食い止め、回復させる(ネイチャーポジティブ)というゴールに向け、2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標です。

※自然共生サイトとは

「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を国が認定する区域



「池に入ってワクワク生き物探し」開催の様子



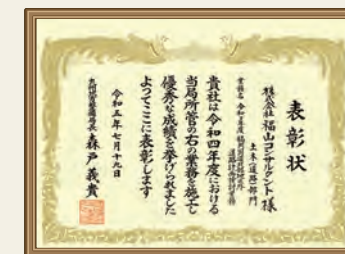
「カヌーで水辺の生き物観察」開催の様子

顧客からの表彰

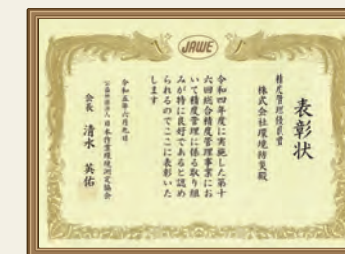
福山コンサルタントは、今年も国土交通省、首都高速道路(株)等の顧客から、多数の表彰や感謝状を頂きました。環境防災は、(公社)日本作業環境測定協会より「精度管理優良賞」を頂きました。



東北地方整備局



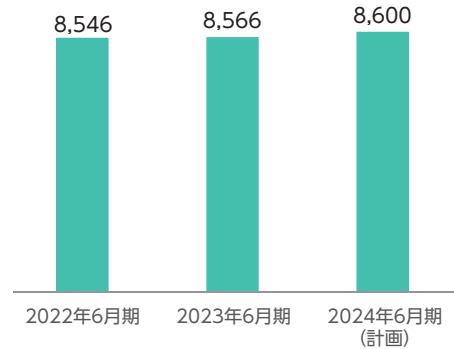
九州地方整備局



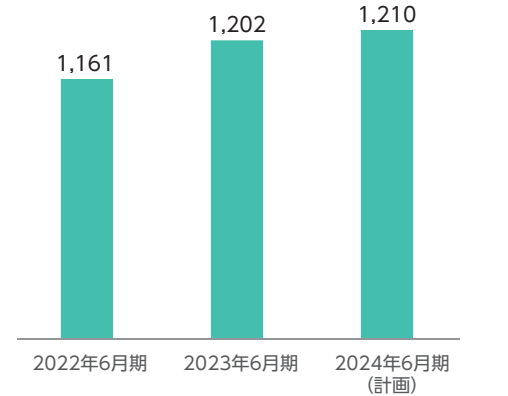
(公社)日本作業環境測定協会

2024年6月期計画値は、2023年6月期と同水準でスタートします。

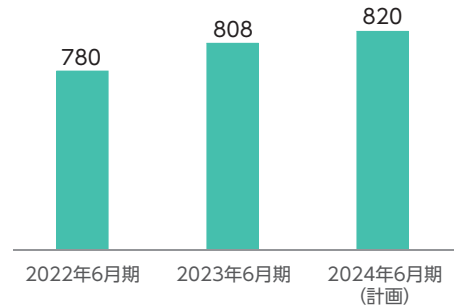
連結売上高
8,566 百万円
 前年同期比 **0.2%** ↑
 単位：百万円



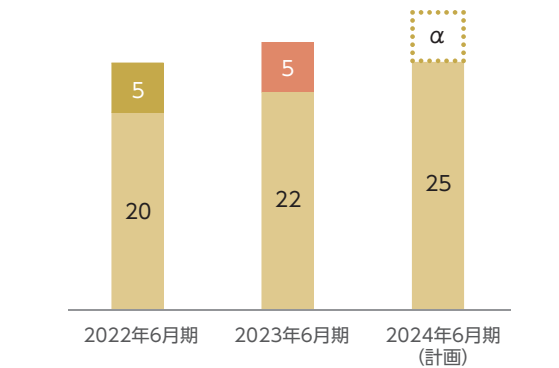
連結経常利益
1,202 百万円
 前年同期比 **3.5%** ↑
 単位：百万円



連結当期純利益
808 百万円
 前年同期比 **3.7%** ↑
 単位：百万円



配当
 期末配当額 **27** 円 ↑
 単位：円



※ 期末基準日で1株を1.1株に無償分割 (5期連続)

連結貸借対照表 (要約)

科目	前期末 2022年6月30日	当期末 2023年6月30日
資産の部		
流動資産	3,836,016	3,868,533
固定資産	5,098,297	5,153,446
有形固定資産	3,968,563	4,012,210
無形固定資産	316,691	269,124
投資その他の資産	813,042	872,111
資産合計	8,934,314	9,021,979

連結損益計算書 (要約)

科目	前期 自2021年7月1日 至2022年6月30日	当期 自2022年7月1日 至2023年6月30日
売上高	8,546,976	8,566,699
売上原価	5,736,910	5,574,532
売上総利益	2,810,066	2,992,167
販売費及び一般管理費	1,654,259	1,797,417
営業利益	1,155,806	1,194,750
営業外収益	21,093	21,849
営業外費用	15,759	14,561
経常利益	1,161,139	1,202,038
特別利益	76,587	8,158
税金等調整前当期純利益	1,237,726	1,210,197
法人税等合計	457,622	401,343
当期純利益	780,104	808,853
親会社株主に帰属する当期純利益	780,104	808,853

単位：千円

科目	前期末 2022年6月30日	当期末 2023年6月30日
負債の部		
流動負債	1,966,120	1,856,742
固定負債	928,453	302,529
負債合計	2,894,573	2,159,271
純資産の部		
株主資本	6,078,595	6,812,399
資本金	400,000	400,000
資本剰余金	901,207	925,181
利益剰余金	4,989,062	5,667,314
自己株式	△ 211,673	△ 180,096
その他の包括利益累計額	△ 38,854	50,308
純資産合計	6,039,741	6,862,708
負債及び純資産合計	8,934,314	9,021,979

連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

単位：千円

科目	前期 自2021年7月1日 至2022年6月30日	当期 自2022年7月1日 至2023年6月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	648,248	619,523
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 143,558	△ 161,757
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 750,025	△ 785,280
現金及び現金同等物に 係る換算差額	164	105
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△ 245,170	△ 327,409
現金及び現金同等物の 期首残高	2,203,039	1,957,868
現金及び現金同等物の 期末残高	1,957,868	1,630,459

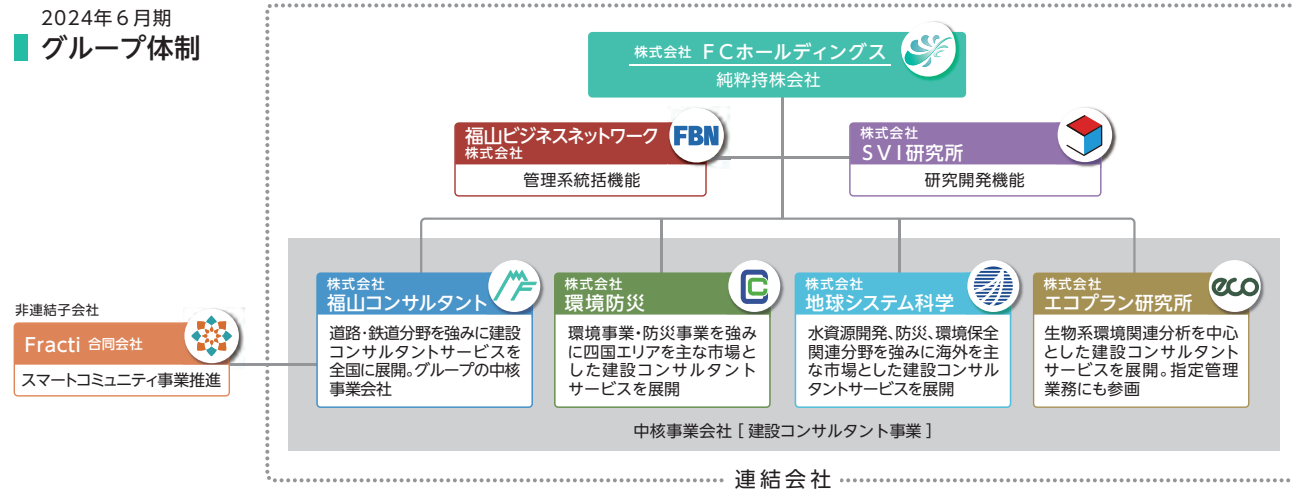
当社概要

商号 株式会社FCホールディングス
(英文名: Founder's Consultants Holdings Inc.)
本店所在地 福岡市博多区博多駅東三丁目6番18号
資本金 4億円
従業員数 395名(連結)

当社役員

代表取締役社長 福島 宏治
取締役 内田 智昭
取締役 松田 治久
取締役 柴徳 洋平
取締役 伊藤 将司
社外取締役 監査等委員 野田 仁志
社外取締役 監査等委員 高山 和則
社外取締役 監査等委員 村上 知子

2024年6月期
グループ体制



グループ各社の役員

株式会社 福山コンサルタント
代表取締役会長 福島 宏治
代表取締役社長 柴徳 洋平
取締役 伊藤 将司
取締役 野上 和彦
取締役 長尾 康博
取締役 門司 雅道
取締役 小笹 俊成
取締役 石倉 麻志
監査役 樋野 光宏
監査役 山根 公八

株式会社 環境防災
代表取締役社長 藤好 一男
取締役 野上 和彦
取締役 大塚 宣昭
取締役 三木 智
取締役 吉本 修
監査役 樋野 光宏

株式会社 地球システム科学
代表取締役社長 板越 優克
取締役 小池 徹
取締役 坂本 浩之
取締役 大塚 宣昭
監査役 松田 治久

株式会社 エコプラン研究所
代表取締役所長 中山 歳喜
取締役 安枝 裕司
取締役 高松 崇
取締役 鷗野 憲一
監査役 柳辺 敏嗣

FBN 福山ビジネスネットワーク 株式会社
代表取締役社長 若林 糾
取締役 寺澤 善理
取締役 山下 義秀
監査役 立石 亮祐

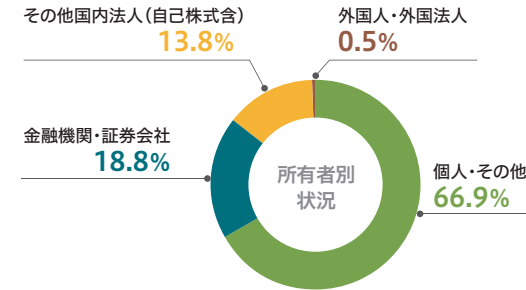
株式会社 SVI研究所
代表取締役社長 国分 恒彰
取締役 藤本 聡
取締役 宮村 正樹
取締役 大田健太郎
監査役 松田 治久

Fracti 合同会社
代表社員 船本 洋司
業務執行社員 中谷 俊文
業務執行社員 国分 恒彰
※非連結子会社

株式の状況 (2023年6月30日現在)

■ 株主の状況
発行可能株式の総数 12,000,000株
発行済株式の総数 6,235,894株
発行済株式の株主数 3,012名
前期比2名増

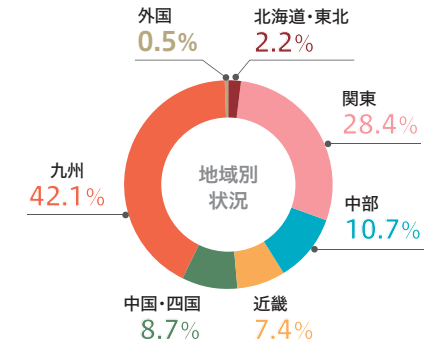
■ 所有者状況 (注)自己株式を含む



■ 大株主(上位10名) 2023年6月末

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
FCホールディングスグループ社員持株会	453	7.82
株式会社もみじ銀行	265	4.58
株式会社西日本シティ銀行	221	3.81
株式会社福岡銀行	215	3.71
日本証券金融株式会社	211	3.65
株式会社十八親和銀行	194	3.36
奥村 学	186	3.22
光通信株式会社	153	2.65
丸田 稔	138	2.38
福島 宏治	100	1.73

※当社は自己株式(532,559株)を保有していますが上記表から除いています。



■ 5期連続で期末基準日に1株を1.1株に無償分割

